

いだがわ

れいわ ねん がつごう
令和8年 2月号②
かめやましりつ いだがわしょうがっこう
亀山市立 井田川小学校
かめやまし ちやう
亀山市みどり町 52
No. 14 (文責:小坂)

がっこうきょういくかつどう 学校教育活動についてのアンケート (結果報告)

12月に実施した「学校教育活動についてのアンケート」につきましては、年末のお忙しい中にもかかわらず、多数の保護者の方にご回答下さいました。ご協力、ありがとうございました。

児童及び保護者アンケートの回答結果(数値)は、学校ホームページに掲載します。

ここでは、それぞれのアンケート結果で特徴的な事項について、考察を交えてご報告します。

* 児童アンケート

全体的な傾向としては、肯定的回答(そう思う+ややそう思う)が昨年度と比較して5%以上減少している項目が1項目ありましたが、その他の項目には大きな変化は見られませんでした。

次に、全17項目の設問のうち、昨年度よりも肯定的回答が増えた項目が3項目、減った項目が14項目、ありました。また、肯定的回答が9割以上の項目が8項目ある一方、8割を下回っている項目は4項目ありました。

◎「学習内容がわかる」…肯定的回答は、昨年度よりも増えて90.8%となっています。児童用タブレット端末の活用をもとに、視覚的にわかりやすい授業づくりがさらに進んでいることも、子どもたちの理解向上につながっているものと思われま。

◎「校外学習や遠足、地域の人に学校へ来てもらって行う学習は楽しくためになる」…肯定的回答は、昨年度よりも増えて95.5%となっています。今後も、児童に付けた力を明確にし、地域の方にもご協力いただきながら、様々な体験的活動に取り組みでいきたいと考えます。

◎「学校生活が楽しい」…肯定的回答は、昨年度よりも増えて92.2%となっており、嬉しく思っています。一方で「そう思わない」と回答している児童が2.8%おり、その理由は様々であると考えられます。今後も、一人ひとりの児童の困り感を的確に把握・分析した上で、有効な取り組みにつなげていく工夫が必要で。

●「授業で自分の意見や考えを発表している」…肯定的回答が63.4%と低い状況が続いています。一人ひとりの児童が自分の思いや考えを積極的に表現すること、相手の考えをよく聞き理解し合うことは、これからの時代ますます必要となる大切な力です。一斉授業の中で全員の前で発言する他にも、ペア(2人組)やグループでの意見交流の機会を増やし、発言が得意な子ども徐々に慣れていけるような工夫がさらに必要だと感じています。

●「家庭学習に取り組んでいる」…肯定的回答が71.6%と年々下がっている状況です。一方、家庭でのSNSや動画の視聴、ゲームなどに児童が費やす時間が年々増えている状況がみられます。学校において、課題内容や評価、声掛けなど、家庭学習への意欲づけを図る工夫がますます必要であると考えて

います。また、ご家庭でのお子さんの生活習慣や時間の使い方について、必要なルール作りやご指導もよろしくお願ひいたします。

●「図書館で借りた本や、自分の持っている本を進んで読んでいる」…昨年度から回答結果に大きな変化が見られ、肯定的回答が78.9%と7%ほど減りました。学校や家庭において、児童が少しでも読書に取り組める時間を意識的に確保することや、普段から本をあまり読まない子への有効な働きかけが必要と思われまふ。

●「困ったり悩んだりしていた時は先生に相談している」…肯定的回答が67.8%と低く、さらに「そう思わない」と回答している児童が1割以上あり、その理由は様々であると考えられます。本校では、学期1回の「教育相談期間」を設け、担任の先生が一人ひとりの児童に学校生活の様子、困っていることや悩んでいることなどを聴き取る機会を作っていますが、そういった場では安心して話せない児童や、うまく話せない児童もいると考えられます。一人ひとりの児童が自分の困り事などを、友だちやまわりのいろいろな大人(保護者、地域の方、専門家など)に相談できる仕組みを、さらに整えていく必要がありまふ。

*保護者アンケート

全体的な傾向としては、肯定的回答が昨年度と比較して5%以上増減した項目はなく、大きな変化は見られませんでした。

全16項目の設問のうち、昨年度よりも肯定的回答が増えた項目は13項目、減った項目は3項目です。また、肯定的回答が9割以上の項目が10項目ある一方、8割を下回っている項目が3項目ありまふ。

◎「学校からの配付物や連絡はお子さんから確実に届いていますか」…肯定的回答は90.6%と、昨年度よりも3.1%増えています。本年度より市内小中学校で導入した「つながる連絡」システムにより、保護者の皆さんに配付文書を確認に直接お届けできるようになりました。一方、大量の情報が届けられることで、重要な情報が埋もれてしまうといった課題もあり、今後の配信方法についてより工夫が必要でふ。

●「学校は、校舎内外の施設や設備の整備に努め、安全で清潔な環境をつくっていると思いますか」…肯定的回答が70%と、昨年度とほとんど増減はありません。自由記述の回答には、昨年度と同様、駐車場の整備についてのご要望が多く上がっていました。駐車場については、冬期休業中に学校整備ボランティアさんの手で、応急的な整備作業として、大きな穴を埋めていただきました。また、学校・PTAより市予算による整備の要望を続けた結果、現在、来年度予算での整備工事が検討されています。学校の施設・設備の整備には、お金をかけずに工夫できるものもあれば、高額な予算が必要なものもあり、実現に時間がかかる場合も多くあります。学校といたしましては、今後も粘り強く市への要望をつづけていきます。

今回のアンケート調査の結果を踏まえ、学校は「学校自己評価」を行い、その適正について評価委員(学校運営協議会委員)から「関係者評価」を受けまふ。学校では、今後それらの評価も生かしながら、学校教育活動の改善に取り組んでいきます。